

## 胃部内視鏡検査を受診される方へ

胃部内視鏡検査は、直接、食道・胃・十二指腸を観察するため、のどまたは鼻を麻酔したのち内視鏡を挿入する安全で有用な検査です。当協会では施設の特性上、鎮静薬・鎮痛薬を使用しての検査、いわゆる「眠っている間に検査を行う」方法は採用していませんが、内視鏡に精通した医師が検査を行っていますので、安心して検査を受けてください。

通常の観察の場合は 15 分程度で終了しますが、ごくまれに以下のような偶発症が起こる可能性があります。

### 1.検査前の偶発症

- ・キシロカイン(のどまたは鼻の麻酔に使用)による副作用がでる場合があります。
- ・キシロカインによるアレルギーで重症の場合には、声帯が腫れて気道がふさがることがありますので、過去に抜歯や怪我の治療の麻酔により気分が悪くなった方は、キシロカイン(のどまたは鼻の麻酔)は使えません。予約時に電話などで必ずお知らせください。また、当日の検査前にも担当の医師・看護師にお伝えください。

### 2.検査中の偶発症

- ・検査による偶発症として重篤なものには穿孔(消化管に穴があく)がありますが、最近の柔軟なスコープではほとんどありません。しかしまれに、狭い部分を通過する際に粘膜を擦ってできた小さな傷から出血することがあります。

### 3.検査後の偶発症

- ・のどの違和感は通常半日くらいで消えます。2～3 日続く場合でも症状は次第に軽減していきます。万一それ以上に痛みが続く場合には、耳鼻咽喉科を受診してください。
- ・検査時に空気を入れて胃を膨らませるので、お腹が張った感じや鈍い痛みがあるかもしれませんが、検査終了後にガスが出て自然に治ります。
- ・経鼻で検査を受けた方は、鼻痛・鼻出血などが出る場合があります。まれに、頭痛や歯痛がみられる場合もあります。鼻出血はほとんどが軽度のもので、数分で止まります。
- ・生検 ※部位からの出血は検査終了時に十分止血確認できていても、ごくまれに数日経ってから起こることもありますので、黒っぽい便や腹痛など症状が続く場合は、消化器科のある医療機関を受診してください。

※生検(粘膜組織の一部を採ることは、病変が見つかった場合に実施することがあります。

以下に起こりうる代表的な偶発症の頻度を記載します。(調査期間 2008-2012 年)

それぞれ起こる頻度を%で、その後の( )内は何件に1回起こるかを記載しています。

<前処置による偶発症> 検査総数 15,545,115 件

偶発症数 2,132 件 0.014% (7,300 件に 1 回)

<検査による偶発症(治療内視鏡を含む)> 経口 10,299,643 件 ・ 経鼻 966,041 件

偶発症数(経口) 550 件 0.005% (18,700 件に 1 回)

偶発症数(経鼻) 232 件 0.024% (4,200 件に 1 回)

(消化器内視鏡ガイドライン第 6 版 監修 日本消化器内視鏡学会 より引用)2018

## 安全で正しい検査が出来るよう、次のことをお守りください

### 検査前日

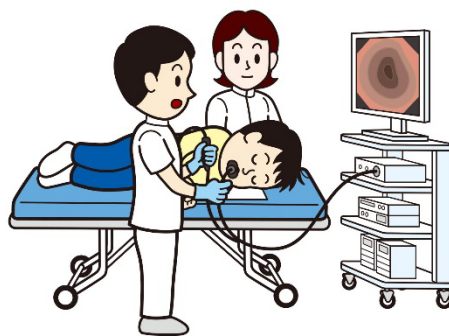
- ◎夕食は固いものを避け、消化の良いもので午後9時までにお済ませください。食物残渣があると十分な検査ができません。
- ◎アルコール、刺激物、たばこは控えください。
- ◎就寝前に薬を服薬されている方は、普段通りお飲みください。

### 検査当日

- ◎お薬手帳をご持参ください。常用薬を確認させていただきます。
- ◎午前6時までであれば、水は飲んでもかまいません。  
牛乳・コーヒー・紅茶・ジュースなどは絶対に飲まないでください。  
午前6時以降は全ての飲食を避けてください。
- ◎心臓病・高血圧の薬は、午前6時までには必ず服用してください。
- ◎糖尿病の方は、インスリン注射や血糖降下剤の服用は控えてください。  
※空腹でインスリン注射や血糖降下剤を服用すると、低血糖になるおそれがありますので、検査を実施できません。
- ◎脳卒中・心臓病で血液をサラサラにする薬、固まりにくくする薬(ワーファリン・バイアスピリン、パナルジンなど)を服用中の方は、看護師に申し出てください(薬剤一覧①をご参照ください)。  
※上記の薬を服用中の方は、当健診センターでの「病理組織検査」は実施できず、観察のみとなります。詳しくは事前に問い合わせてください。
- ◎鼻の奥が細い方は、まれにカメラが入らない場合があります。その際には、経口へ変更となります。
- ◎医師の判断により検査を中止する場合があります。
- ◎妊娠中・授乳中の方は、当健診センターでは検査を受けられません。

### 検査後

- ◎病理組織検査を実施した場合、検査当日は激しい運動・長時間の入浴、熱い飲み物・アルコール・香辛料は避けてください。



薬剤一覧①

	薬品名	一般名	ジェネリック	
抗凝固薬		ワールファリン	ワルファリン	アレファリン・ワールイン・ワルファリンK
		プラザキサ	ダビガドランエテキシラート	
		エリキュース	アピキサバン	
		イグザレルト	リバーロキサバン	
		リクシアナ	エドキサバン	
		アスピリン	アスピリン	
抗血小板薬		バイアスピリン	アスピリン	ゼンアスピリン・アスピリン腸溶錠
		バファリン	アスピリン	
		タケルダ配合錠	アスピリン+ランソプラゾール	
		プリリント	チカグレロ	
		コンプラビン配合錠	アスピリン+クロピドグレル	
		エフィエント	プラスグレル塩酸塩	
		プラビックス	クロピドグレル硫酸塩	
		パナルジン	チクロピジン塩酸塩	ジルベンダー・ソーパ・ソソソリン・チクピロン・マイトジン・ニチステート・パチュナ・パナピジン・ピーチロン・ヒシミドン・ピエテネール・ピクロジン・ファルジン
		エパデールS	イコサペント酸エチル(EPA)	アテロバン・アンサチュール・イコベント・ヤトリップ・エパラエ・パキャップ・エパロース
		エパデール		メタバス・エバンド・エメラドール・クレスエバ・シスレコン
		ロトリガ	EPA+DHA	
		プレタール	シロスタゾール	アイタント・エクパール・エジェンヌ・オベタール・グロント・コートリズム・シロシナミン・シロスタゾール・シロスレット・ファンテゾール・プラテミール・プレスタゾール・プレトモール・フレニード・プレラジン・ホルダゾール・ラノミン
		アンブラーグ	サルポグレラート	サルポグレラード塩酸塩
		プロサイリン	ベラプロストナトリウム	セナプロスト・ドルナリン・プロスタリン・プロドナー・プロルナー・ベストルナー・ベラストリン・ベラドリン・ベルナル・ペルラー・ベブラリード・プロスナー・ドルナー